

質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル東工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	【金抜設計書 番号22、23、25、26】 覆工・インバートコンクリートの冬期割増料金は、設計積算において想定されていますか。 新得地区において10～4月に打設するコンクリートには冬期割増料金が発生します。	積算に関する質問はお答えできません。
2	【設計図(参考図) 9/17 工事工程表】 インバートコンクリートの工程をご教示ください。 設計図(参考図) 9/17 工事工程表にインバートコンクリートの工程(積算用)が記載されていないため、「覆工コンクリートの施工期間中に施工するインバート」と「それ以外の期間に施工するインバート」の数量が計算できません。	貴社の施工計画に基づきご判断ください。
3	【設計図(トンネル工) 19～23、25/88】 9/10 質問番号10の回答にある、掘削工に含まれる鏡吹付コンクリートの積算数量 ΣA は、下式により求められると考えて良いですか。 鏡吹付コン $\Sigma A(m^2) = \text{設計図の鏡吹付けコンクリートの面積} A(m^2) \times \text{切羽枚数(サイクル数)} R6$ 積算基準のサイクルタイム表において、鏡吹付けコンクリートの面積 $A(m^2)$ は下式で計算することになっています。 $A(m^2) = \text{余掘りを含む上半の掘削断面積} A3 - (\text{吹付設計厚} N1 + \text{余吹厚} N2) \times \text{上半吹付け周長}$	土木工事積算基準 第19編に記載のとおりです。
4	【特記仕様書 P.45、46】 避難連絡坑防護工で使用する鋼部材類は、中古材の使用を想定されていますか。 また、撤去材はスクラップにすることを想定されていますか。	ご認識の通りです。

番号	質問事項	回答
5	<p>【特記仕様書 P37】 計測工Cにおいて、計測器用のAC100V電源の費用は想定されていますか。 I期線トンネル坑内の電源を使用できない場合、本工事用の仮設電力設備から電源を確保する必要があります。</p>	I期線トンネル坑内の電源を想定しております。
6	<p>【金抜設計書 番号20】 設計積算において坑門工コンクリートA1-3(T)の冬期割増料金は想定されていますか。 設計図(参考図) 9/17 工事工程表を⑦【別紙ー1_工事工程表】に当てはめると、坑門工の施工時期は冬期(11~1月)になります。</p>	坑門工の冬期施工は想定しておらず、工程表に誤りがありましたので後日訂正致します。
7	<p>【設計図(参考図) 11, 12/17 制御発破計画図】 C I-B-S、C II-B-S のトンネル掘削の設計積算は、参考図にある制御発破計画図をもとに行われていると考えて良いですか。 特記仕様書P33に避難連絡坑の発破方式は「制御発破(電気遅延式雷管)による」の記載があり、参考図の制御発破計画図の表に、発破孔数(孔/m²)と装薬量が記載されています。</p>	設計図書に示すとおりです。
8	<p>令和6年9月10日掲載の質問に対する回答-35 型枠T(L)の数量に関する回答として、拡幅妻部を含んだ面積が正とのことですが、拡幅妻部は『非常駐車帯妻部型枠費』として割掛項目にて計上されております。 妻型枠部は、どちらに含めるのが正でしょうか。</p>	割掛項目として計上します。 10月9日掲載の訂正公告をご確認ください。
9	<p>令和6年9月10日掲載の質問に対する回答-38 ずり処理工について、数量修正後のA1、A2の数量をご教示ください。</p>	10月9日掲載の訂正公告をご確認ください。
10	<p>特記仕様書29-4-2 坑門工の型枠工について、坑門工の支保工・足場工の数量をご教示ください。</p>	貴社の施工計画に基づきご判断ください。
11	<p>割掛対象参考内訳書3/5 吹付設備について、基礎コンクリート数量をご教示ください。</p>	貴社の施工計画に基づきご判断ください。
12	<p>割掛対象参考内訳書5/5 坑口切付工の土のうについて、詰め材に使用する土は購入材を使用すると考えてよろしいでしょうか。</p>	現地発生土を想定しています。

番号	質問事項	回 答
13	<p>割掛対象参考内訳書5/5、設計図（トンネル工）85/88 避難連絡坑補強費について、公告図面の数量表では撤去工（H型鋼+底板）合計が『415.4kg』と記載がございますが、撤去工のH形鋼と底板の各項目の質量を合計すると205.6kgとなり、1箇所当り0.2tと読み取れます。 しかしながら、割掛対象参考内訳書の避難連絡坑補強工の『鋼アーチ支保工撤去』の数値は『0.4t×1箇所』と記載がございます。 鋼アーチ支保工撤去の正しい数値について、ご教示願います。</p>	<p>鋼アーチ支保工撤去数量は0.2tが正となります。 10月9日掲載の訂正公告をご確認ください。</p>
14	<p>割掛対象参考内訳書5/5、設計図（トンネル工）85/88 避難連絡坑補強費について、公告図面の数量表では『補強プレート』の質量は『210.8kg』と記載がございますが、割掛対象参考内訳書の避難連絡坑補強工の『補強材設置』の数値は『0.4t』と記載がございます。どちらが正しい数値なのでしょう。</p>	<p>避難連絡坑補強工の補強材設置数量は0.2tが正となります。 10月9日掲載の訂正公告をご確認ください。</p>
15	<p>令和6年9月10日掲載の質問に対する回答-33、割掛対象参考内訳書5/5 避難連絡坑の『補強工』について、令和6年9月10日掲載の質問に対する回答-33で次のような質問とそれに対するご回答をいただいております。 【質問】『避難連絡坑はSTA1089(C I)とSTA1096(C II)の2箇所にあります が、以下の①～④の数量はC I、C IIのパターンに関係なく同一数量と考えて良いですか。 ①扉部、②接続部覆工取壊し工、③補強工、④防護工（以下略）』 【回答】『ご認識のとおりです。』 しかしながら割掛対象参考内訳書の避難連絡坑補強費において、『鋼アーチ支保工撤去』『ロックボルト撤去』『補強ロックボルト（L=4.0m）打設』『補強ロックボルト（L=2.0m）打設』『接続アンカー設置』の数量をそれぞれ参照しますと、『1箇所』の項目と『2箇所』の項目があります。 補強工について「2箇所とも同一数量と認識する」という旨のご回答と、割掛対象参考内訳書の記載はどちらが正しいのでしょうか。</p>	<p>割掛対象参考内訳書が正となります。</p>

番号	質問事項	回 答
16	<p>特記仕様書22-3 建設副産物のコンクリート塊活用について、発生場所として『吹付設備基礎』『防音扉基礎』が記載されております。 この他に、避難連絡坑補強工を施工する際に既設覆工を撤去するとコンクリートが発生すると考えられますが、こちらの処分費は含まないという認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>避難連絡坑補強工に含みます。</p>
17	<p>【参考図】8/17加背割図(3) トンネル掘削数量について、狩勝第二トンネル詳細設計を参照しますと『Da(H)-3-B』全断面掘削(支払)は『83.921m³/m』と記載されております。 しかしながら、公告図面の【参考図】8/17加背割図(3)では全断面掘削(支払数量)は『84.302m³/m』と記載がございますが、どちらの数値が正しいのでしょうか。</p>	<p>公告図書が正となります。</p>
18	<p>⑤【設計図(参考図)】図面番号8/17 施工順序 ④鋼アーチ支保工が別途計上と記載されており、⑪【割掛対象表参考内訳書】5/5 雑工事費 坑口切付費にも記載がありません。 坑口切付費で使う鋼アーチ支保工の費用は、どの項目に含めれば良いのでしょうか。 ⑨【金抜設計書】及び⑬【数量明細書(契約項目)】の鋼アーチ支保工 D I I I (a) - 3 73基には、含まれていないと考えております。</p>	<p>鋼アーチ支保工 D I I I (a) - 3の数量に誤りがあり、75基が正となります。 10月9日掲載の訂正公告をご確認ください。</p>
19	<p>④【設計図(トンネル工)】図面番号47/88の平面図を見ると、終点側(東側)坑口部に横断排水工の表記がありますが、図面番号51/88の横断排水工材料表に項目がありませんので、必要とする数量をご教示ください。</p>	<p>排水系統図に記載の横断排水工に誤りがありました。 10月9日掲載の訂正公告をご確認ください。</p>
20	<p>⑨【金抜設計書】及び⑬【数量明細書(契約項目)】の路盤排水工 横断排水工Bの数量が113mとなっておりますが、④【設計図(トンネル工)】図面番号51/88の横断排水工材料表を基に計算すると(終点側(東側)坑口部に横断排水工を含まない)、250m程度になると考えますが如何でしょうか。</p>	<p>横断排水工Bの数量は242.0mが正となります。 10月9日掲載の訂正公告をご確認ください。</p>

番号	質問事項	回 答
21	<p>坑外ずり積替場が、⑤【設計図（参考図）】図面番号10／17に示されている位置と設計報告書で検討されている位置が異なり、現状の一部本線が舗装道路になっています。</p> <p>参考図の条件で、捨土掘削・構造物掘削・ずり処理工の費用を御見積すればよろしいでしょうか。</p>	<p>公告図書をご確認ください。</p>
22	<p>⑨【金抜設計書】及び⑬【数量明細書（契約項目）】の計測工C 振動測定の数量が3箇所となっていますが、④【設計図（トンネル工）】図面番号61／88の計測機器配置図では2断面において計測すると読み取れます。</p> <p>設計図の考えでよろしいでしょうか。</p>	<p>計測工C 振動測定の数量は2箇所が正となります。</p> <p>10月9日掲載の訂正公告をご確認ください。</p>
23	<p>⑪【割掛対象表参考内訳書】3／5 仮設備工事費 ダンプトラック運転費に運転労務（補助）延運転月数25.8ヶ月とあります。</p> <p>爆破掘削では4台を超える数量がこれに該当すると理解しており、1／5 共通仮設費 工事用機械運搬費（トンネル）で5台であることからダンプトラック5台で運転する期間が25.8ヶ月あると読み取れます。</p> <p>この記載内容で御見積してよろしいでしょうか。</p>	<p>ダンプトラック運転費の運転労務（補助）延運転月数は5.2ヶ月が正となります。</p> <p>10月9日掲載の訂正公告をご確認ください。</p>
24	<p>【質問と回答⑤】10の回答で「鏡吹付コンクリートを施工する支保パターンについては直送ではなく積み替え方式で計画されている」とのことですが、ずり処理工B1においては北海道森林管理局が管理する広内林道を通ることになり、25t積ダンプトラックは走行できないと考えます。</p> <p>ずり処理工B1に該当するトンネルずりは、全て積み替え方式で計画されていると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>特記仕様書29-5-3のとおりです。</p>
25	<p>【質問と回答⑤】35の回答で数量が訂正されましたが、妻型わくの費用は⑪【割掛対象表参考内訳書】4／5 雑工事費 非常駐車帯妻型わく費で計上していると思われます。</p> <p>妻型わく以外の数量変更でしょうか。</p>	<p>10月9日掲載の訂正公告をご確認ください。</p>
26	<p>汚濁水処理工で発生する泥土は、処理の区分Aを適用してよいでしょうか。</p>	<p>特記仕様書22-3のとおりです。</p>
27	<p>坑外で施工する注入式長尺先受工の打設工及び注入工は、2交替施工が可能と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきご判断ください。</p>

番号	質問事項	回 答
28	⑩【特記仕様書】10-2冬期休止期間における作業に「工事内容 トンネル工事関連作業」とありますが、坑門工のコンクリート工事はこれに該当しないと考えてよろしいでしょうか。	ご認識の通りです。
29	⑤【設計図（参考図）】図面番号9/17を見ると、覆工コンクリート開始と同時期に坑門工を施工するように読み取れます。土木設計数量算出要領には「内型わくは型わくTで検測する。」と記載されていますが、本坑セントルを使用しない計画で御見積すべきでしょうか。	貴社の施工計画に基づきご判断ください。